

# マルトミ です

10・11月号 (隔月刊)

日頃のご愛顧に心より御礼申し上げます。



## お知らせ

- ☆ 当社では10月15日(土)・16日(日)、展示商談会を開催いたします。除雪機を中心に農業機械・生活関連商品等を多数取りそろえ、温かいトン汁・コーヒーもご用意して皆様のお越しをお待ちしています。ぜひご家族ご近所お誘いあわせのうえお出かけ願います。
- ☆ ただ今ショールームではホンダ除雪機を各種展示中です。  
当社ではホンダ・ヤンマー・ヤナセ・共立の除雪機を取り扱っています。10月には展示商談会も開催いたしますが、すでにメーカーでは完売品も出始めていて、もしかすると展示会前に売り切れてしまう機種もあるかもしれません。現在検討中の皆様は、先にご契約いただいても展示会と同様の特典がございますので、どうかお早目にご相談ください。
- ☆ 10月より除雪機のシーズン前点検キャンペーンを開始しました。料金もお得になっていますのでぜひこの機会にご利用をお願い致します。

マルトミカレンダー (10月 ~12月) 赤色は休業日

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5					1	2	3
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31
30	31																			



## 株式会社 マルトミ

本社: 上越市西田中236-9(企業団地内)

TEL(025)524-1181 FAX(025)524-1184

E-mail: [info@maru-takada.com](mailto:info@maru-takada.com)

ホームページ [www.maru-takada.com](http://www.maru-takada.com)

## 除雪機の点検はお早めに ～簡単にできる点検のポイント～

雪のシーズンがだんだん近づいてきました。

いざというときすぐに快適な作業ができるよう、早めの点検をおすすめします。点検の際のとくに大事なポイントを3つあげておきますのでご参考にしてください。なお詳しくは取扱説明書をご覧ください。



### ① オイルはきちんと入っていますか。

とくにエンジンオイルの量が少なすぎたり汚れていたりすると大きなトラブルの原因となります。エンジンをかける前にまずエンジンオイルの確認をしてください。

### ② バッテリーがあがっていませんか。

始動のスイッチを入れてみて、セルモーターが回らなかったり、力が弱くてエンジンがかかりにくいときは、バッテリーがあがっていることが考えられます。その場合は液量が不足していないか確認したうえで、充電器で充電をしてください。

### ③ 古い燃料が入っていませんか。

始動のスイッチを入れてみて、バッテリーは充分あるのにエンジンがかからなかったり、かかってもすぐ止まったりエンジン音が波打ったりする場合、キャブレターが詰まっていることも考えられます。こうした現象は、シーズン後の格納時にキャブレター内のガソリンを抜いておくことと、古い燃料を使わないようにすることで防ぐことができますが、詰まってしまったキャブレターは修理が必要です。

※ もっと詳しい資料をご希望の方には、ホンダで発行している除雪機点検のパフレットを差し上げますのでお気軽にご請求ください。店舗カウンターにも置いてあります。

## 耕うん機・草刈機などの格納前のお手入れについて

除雪機とは反対に、もうシーズンを終えて来年まで使わない耕うん機や草刈機などは、長期格納の前に燃料を完全に抜いて、摺動部分やさびやすい部分には注油しておく、翌年もトラブルなく快適にご使用いただくことができます。手入れの方法などでわからないことがありましたらお気軽におたずね下さい。



### 機械の点検・修理はおまかせ下さい。



当社は、県認定農業機械整備工場・ヤンマー農業機械整備士工場・ホンダ汎用機ベスト特約店として、**点検・整備・緊急の出張修理等**、全てにわたり**迅速・確実・低料金**にて承ります。メーカーを問わず対応できますので、ぜひご利用をお願い致します。

故障したけれどどこに修理を頼んだらよいかお困りの機械などありましたら、まずはお気軽にご相談下さい。御見積りは無料ですのでどうかよろしくお願い致します。

## イナバ物置・除雪機保管庫の設置を承っています。

当社では、イナバを中心に各種物置やガレージの設置・施工を承っています。そんな中で、最近人気なのが除雪機保管庫です。バイクガレージの床をスチールではなく板張りにすることで、①水が溜まらず ②足が滑りにくく ③標準品よりも安価にご提供できるようになりました。シャッター式で耐雪仕様の頑丈なつくりなので防犯効果も大きいです。除雪機保管庫はこちらに常設展示もしていますので、ぜひご覧ください。



## ウニとカニの展示が人気です。



8月からショールームで展示しているウニとカニの標本がなかなかの人気です。カシパン類（左の写真）はどなたもウニとは気づかないようで、いったいこれは何かとよく聞かれます。この辺の海にもいると説明すると驚かれますが、本当にいますので探してみてください。その一方で、世界でも南アフリカの一部にしかいない珍しいカシパンとか、なかなか他では見られないもの

もありますのでぜひご覧ください。



## お客様訪問

### 中郷区 さんやそう荒川 様

荒川豊さんは、まだ学生のころに笹ヶ峰で偶然見つけたトガクシショウマの花の美しさに魅せられ、それ以来山野草の世界に没頭してきました。趣味が嵩じて57歳で会社を辞め「さんやそう荒川」を開業しました。12年経った今、このお店の得意商品である珍しい斑入の山野草（なんと数百種）を求めて、全国から愛好家が訪れています。

荒川さんのモットーは、植物を売るだけでなく、育て方や殖やし方をきちんと伝えるというもので、お話を聞いているだけで植物に対する愛情がこちらに伝わってくるようです。



上越では珍しい山野草の専門店、お好きな方は一度訪ねてみてはいかがでしょうか。場所は国道18号を長野方面に向かい、松ヶ峰入口を右折してまもなくの場所にある「中郷ひばり荘」の隣りです。定休日は火曜で、営業時間は9時から6時です。



奥さんも迎えてくれます。

さんやそう荒川 上越市中郷区江口 993-7 ☎ 0255-74-2322

マツムシソウ

名前はどこから

妙高高原に住む義兄がマツムシソウの花を一抱えも持ってきてくれました。聞けば家の周りにこぼれた種が広がってどんどん増えているとのこと。やはり高地ならではのうらやましい限りです。高田でも種子から育てると良いと聞きますが、それでも暑がりのこの花、結局絶えてしまうことが多いようです。それにしてもこの花の色の美しさはどうでしょう。藤色にすこし浅葱色を混ぜたような見事なパステルカラー、よく枝分かれしたか細い茎の先に着く、薄紫の大きめな花が風に揺れるさまは、高原の秋の風景にピッタリはまっています。



上越では妙高高原などの高原に普通に見られる越年草ですが、低地にはほとんどありません。図鑑などでは本州から九州まで広い範囲に見られるということになっていますが、方言が大変少なくその点が不思議です。広く分布するといっても、あんがい産地が局地的な種類なのかも...と勝手に思っています。採集された方言は、長野、山梨などでタズマ、ダツマなどの名が記録されていますが意味は不明。ほかにキクナなどナにつくものが少し、これは芽を食べるからでしょうか。救荒植物として凶作のとき、葉と一緒に太い根も食べたといいますが、美味しいものではないようです。

マツムシソウの名は江戸時代から知られていました。当時の百科事典 和漢三才図会 に「玉毬草 俗に松蟲草といふ」と書いてあります。これを初めて聞いたときは、単純に 秋に咲くからか とか 松虫の鳴いているような草原に咲くから など勝手に思っていたものです。事実そのような感じでその語源を説明している本も多くあり、牧野新日本植物図鑑では「松虫草の意であろうが詳細不明」とされています。ところが全く違った見方で名前を見事に説明してくれた本がありました。その本、中村浩さんの書かれた「植物名の由来」には昆虫の松虫からではなく仏具の名前から来たものであると書かれており、花後に丸く大き

くなった花の中央部分が、西国巡礼者の持つ小さな叩鉦(たたきがね)「マツムシ鉦」というものに似ているというところから、つけられたというものでした。目からウロコこの説、図を見れば素直に納得できます。でもこの鉦をマツムシと呼ぶのは何故?...その音色からと思うのですが...う～ん だんだんわからなくなってきました。(ハ)

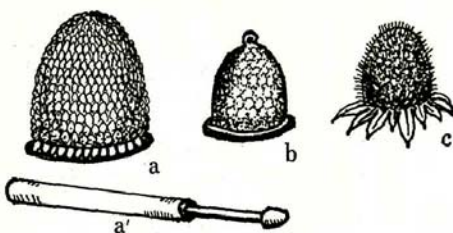


図24 a 伏鉦 (松虫鉦), a' 撞木, b 六部が首にかけるマツムシ, c マツムシソウの花後の坊主。

※図は昭和55年発行 東京書籍 中村浩著「植物名の由来」より転載。